

# 1月臨時会

## 議案ピックアップ

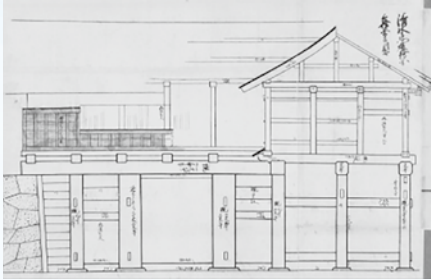
◆市長提出議案……………2件

1月19日に臨時会を開催し、単行議案1件、予算案1件について審議し、いずれも同意及び可決されました。

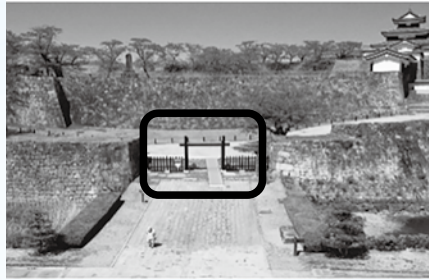
### ●議案第1号 小峰城跡清水門復元整備工事請負契約について

**【目的】** 小峰城跡の価値をさらに高め「地域の活性化」や「まちづくり」に大きく寄与するため、清水門の復元を行うものです。

**【契約額】** 7億5,130万円



「白河城御櫓絵図」



「清水門復元予定地」



「復元イメージ」

### ●議案第2号 令和5年度白河市一般会計補正予算（第7号）

**【事業名】** 物価高騰重点支援給付事業 2億3,125万円

**【事業の概要】** 物価高騰の負担感が大きい低所得世帯を支援するため、住民税均等割のみ課税世帯などに給費金を支給するものです。

① 住民税均等割のみ課税世帯	1世帯あたり	10万円
② 低所得者の子育て世帯	子ども1人あたり	5万円

## 住友ゴム工業株式会社白河工場を視察

## 議員研修

### 水素エネルギーと太陽光発電を活用

住友ゴム白河工場は1974年に操業を開始し、国内最大のタイヤ工場として、乗用車からトラック・バス用の大型タイヤまで、様々な種類のタイヤを製造し、全世界に供給している住友ゴムグループの主力タイヤ工場です。

本市においては、2050年までにCO<sub>2</sub>排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行っていることから、水素エネルギーや太陽光発電によりカーボンニュートラルをはじめ持続可能な社会の実現に向けた取組を実施している白河工場の施設を視察いたしました。同工場は、2021年8月から、次世代エネルギーとして期待されている水素の活用に向けた実証実験に取り組んでいます。また、従業員駐車場にカーポート型太陽光パネルを導入し、水素エネルギーと太陽光発電を使用した日本初の製造時カーボンニュートラルを達成した量産タイヤの生産を実現しております。現時点では水素エネルギーの導入はタイヤ生産工程の一部ですが、今後工場全体への拡大を計画しています。県内で製造・供給された水素を使用していることから、水素の地産地消の先駆者として期待されています。

（2月14日議員21名により視察）

